



# 2017年11月27日満期 円貨決済型ブラジル・レアル建社債 (グリーンボンド)

## 利率 / 年 (課税前)

**9.35%**

ブラジル・レアル建の表面利率

(注) 利率はブラジル・レアルベース (課税前) です。

## 売出期間

**2014年11月10日～11月25日**

## 売出要項

発行 体: クレディ・アグリコル・コーポレート・アンド・インベストメント・バンク  
 格付 付: A2 (※Moody's) / A (※S&P) / A (※Fitch)  
 利率: 年9.35% (ブラジル・レアルベース課税前)  
 売 出 価 格: 額面金額の100.00%  
 お 申 込 単 位: 額面10,000ブラジル・レアル単位  
 売 出 期 間: 2014年11月10日～11月25日  
 発 行 日: 2014年11月26日  
 受 渡 日: 2014年11月27日  
 償 還 日: 2017年11月27日  
 利 払 日: 毎年5月27日および11月27日 (年2回)  
 利金および償還金の国内でのお支払いは、原則として  
 利払日・償還日以降となります。

\* ブラジル・レアル建社債は通貨規制により外貨決済を行いません。  
 ご購入時・償還前の売却時および元金金は円貨での決済となります。

\* 上記の「※」印の格付会社は「無登録格付業者」となりますので、当該銘柄は「無登録格付」となります。  
 詳細は「無登録格付に関する説明書」をご覧ください。

## 手数料など諸費用について

- 本社債を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 本社債の売買にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。
- 本社債の利金および償還金は、支払い時の一定の相場に基づき、一定の算式により換算された円貨で支払われます。

## 外貨建債券のお取引にあたってのリスクについて

- ① 為 替 変 動 リ ス ク : 元金金は外貨によって表示されますが、支払いは円貨によって行われるため、為替相場の変動により、利金、償還時および中途売却時の円貨でのお受取り金額は増減し、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ② 価 格 変 動 リ ス ク : 中途売却の場合には、売却時の債券市況や金利水準により、債券の売却価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ③ 発 行 者 の 信 用 リ ス ク : 発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、元本や利息の支払能力 (信用度) が変化し、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ④ 流 動 性 リ ス ク : 市場環境の変化により流動性が低くなることも考えられます。その際には、店頭取引において、買い取りが行われなくなる可能性があります。
- ⑤ カ ン ト リ ー リ ス ク : 発行通貨国の政治・経済・社会情勢の混乱等により債券の売買が制限されることなどから、元本の損失が生じるおそれがあります。

※ 上記は全てのリスクについて記載したものではありません、それ以外のリスクも存在することがあります。

## 無登録格付について

本資料において使用される格付けについて、以下に掲げる当該信用格付付与者は金融商品取引法第66条の27の登録を受けておりません。無登録格付に関する留意点につきましては、「無登録格付に関する説明書」をご覧ください。

- ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク (Moody's)
- スタンダード・アンド・プアーズ・レーティングス・サービス (S&P)
- フィッチ・レーティングス (Fitch)

## 税制について

- 利 金 : 20.315% (国税15.315%、地方税5%) の源泉分離課税の対象となります。2016年1月1日以後は20.315% (国税15.315%、地方税5%) の申告分離課税の対象となります。
- 償 還 差 益 : 雑所得として総合課税の対象となります。2016年1月1日以後は申告分離課税の対象となります。
- 売 却 益 : 売却益は非課税扱いとなります。2016年1月1日以後は申告分離課税の対象となります。
- 今後、税制当局により税制について新たな変更が行われた場合は、それに従うこととなります。

## お申し込みの際は

- 「外国証券取引口座」の開設が必要となります。
- お申し込みの際は、必ず目論見書・契約締結前交付書面をお読みいただき、その内容をご確認ください。
- 当社において販売いたしました外国債券の価格情報の状況等につきましては、当社にお問い合わせください。
- 資料のご請求は、当社の各支店へお問い合わせください。

■ お申込み、目論見書のご請求は…

**アイザワ証券**

商 号 等 : 藍澤証券株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号  
 (本 社) : 東京都中央区日本橋1-20-3  
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会  
 当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関:  
 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター(略称:FINMAC)

## 発行体 クレディ・アグリコル・コーポレート・アンド・インベストメント・バンクについて

クレディ・アグリコル・コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(以下、CACIB)は、フランス・パリに本店を構え、資産および自己資本(Tier1)ベースで世界大手の金融グループである、クレディ・アグリコル・グループ(以下、CAグループ)の100%子会社です。CAグループは、1885年(明治18年)に設立されたフランスの農業系統金融機関であり、フランス国内および国際リテール銀行業務、法人・投資銀行業務、保険業務、資産運用業務などの様々な金融サービスをグローバルに展開。従業員数は15万人におよび、資産規模でも世界最大の協同組織金融機関グループです。特にリテール業務に強みを持ち、フランス国内の普通預金シェア23.2%、国内ローンシェア20.9%(以上2013年12月末時点)と、国内最大手のリテール銀行としての地位を維持しています。CACIBは、CAグループの法人営業・投資銀行部門として、本店パリ、ロンドン、ニューヨーク、東京、香港を中心に世界各国でグローバルに業務展開しています。融資業務、キャピタル・マーケットおよび投資銀行業務等を主とした幅広い商品とサービスを世界各国で提供しながら、CAグループの資金調達主体としての役割も担っています。

## グリーンボンドとは

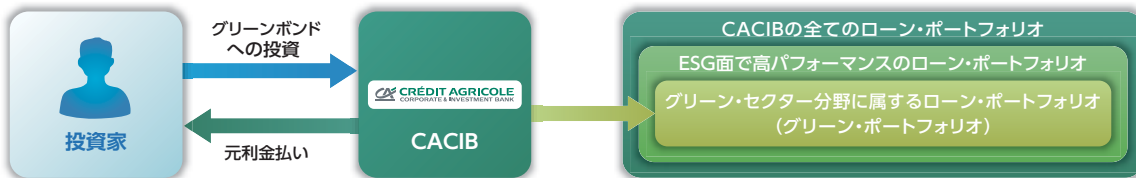
グリーンボンドとはCACIBが発行する債券であり、CACIBを通じて、より環境にやさしい経済・社会の発展に取り組む企業・プロジェクトをサポートすることが出来ます。

CACIBは、グリーンボンド発行による調達資金と同額以上をグリーン・ポートフォリオに充当するべく最大限の努力をします。

グリーン・ポートフォリオは、以下の点を満たす企業・プロジェクトへのローンにより構成されます。

- (i) 環境、社会およびガバナンス(以下、「ESG」)面において優れたパフォーマンスを示す企業・プロジェクトであり、かつ
- (ii) 再生エネルギー、エコ効率技術、水資源・廃棄物の設備やその管理等のグリーン・セクター分野に属する企業・プロジェクト

グリーン・ポートフォリオに充当される金額がグリーンボンド発行による調達資金の金額を下回る場合、その下回る金額分については、一般事業目的に使用されます。



## ブラジル連邦共和国の基本情報

出所：外務省

|       |   |  |
|-------|---|--|
| 面積    | 851.2万平方キロメートル (日本の約22.5倍)                |  |
| 人口    | 1億9,840万人 (2012年、国連人口基金「世界人口白書2012」)      |  |
| 首都    | ブラジリア                                     |  |
| 経済成長率 | 7.5%(2010年)、2.7%(2011年)、0.9%(2012年) (IMF) |  |
| 主要産業  | 製造業、鉱業(鉄鉱石他)、農牧業(砂糖、オレンジ、コーヒー、大豆他)        |  |

## ブラジル・レアル／円為替レートの推移

出所：Bloombergデータ、2009年11月2日から2014年11月5日



## ブラジルの経済状況

出所：外務省、オリンピック委員会、ブラジル政府発表文書

|            |  |
|------------|--|
| ■ブラジルの成長状況 | 世界第7位かつ南米最大の経済規模を誇る。ルセーフ大統領は近年の政権の財政安定化政策を踏襲。経済安定と改革重視の政策をとり国際的信用を維持。2012年の経済成長率は0.9%と低迷したが、2013年の経済成長率は2.3%と大方の市場関係者の見通しを上回り、穏やかな回復傾向にあります。           |
| ■ブラジルの財政状況 | ブラジルは潤沢な外貨準備高(2014年2月3,772億ドル)を有する対外純債権国となっています。2014年1月のアルゼンチン・ペソ急落の際も、ブラジルにとって貿易面での影響に留まり、金融面で大きな影響はありませんでした。   |
| ■今後のイベント   | ブラジルでは、2014年のサッカーワールドカップに続き、2016年にリオデジャネイロオリンピックが開催されます。世界的なスポーツイベントが続けて開催されることは、スタジアム建設、道路や鉄道などの交通インフラ整備、期間中の海外からの観光客増加など、ブラジルに大きな経済効果をもたらすことが期待されます。 |